



### 駅の開業から130年 ～黒磯駅前キャンドルナイト～

伊藤博文が初代内閣総理大臣に就任したその翌年の明治19年。12月1日に黒磯に新しく駅が開業しました。その日から経過した年月は、なんと130年。この駅で数えきれないほど多くの旅立ちと再会があったことでしょう。

12月3日に開催された黒磯駅前キャンドルナイト。汽車や線路を模して配置されたキャンドルに火が灯り、穏やかな時が流れていました。時は、これからも少しずつまちに積み重なっていきます。



### ゆく年の感謝とくる年の商売繁盛を願って ～塩原温泉女将もちつき祭～

ペッタン、ペッタン、ペッタン。12月3日、塩原温泉の女将さんたちが、臺沼もちつき保存会の協力のもと、もちつきを行いました。

この行事は、訪れてくれたお客さんへの感謝と、翌年の商売繁盛を願って毎年行われているもので、今年で16回目。8人の女将さんが振り下ろすきねは、時折うすに当たりながらも、テンポよく小気味良い音を響かせていました。できた約600人分の餅は、訪れた人たちに無料で振る舞われました。



### 冬の星雲を独り占め ～天体観察教室～

田舎ランド嶋内で天体観察教室が12月3日に行われ、9組25人が満天の星を堪能しました。この教室は、市内の天体観察サークル「那須野が原星の会」のメンバーを講師に招き、平成18年から行われている講座。冬は明るい一等星が多く、肉眼でも見える星雲・星団があるので、見応えも抜群です。

共英小1年の蓮池湊士くんは「プラネタリウムは見たことあるけど天体観察は初めて。(おうし座の)スバルがすごかった」と満足気。

田舎ランド嶋内では、さまざまなイベントを行っています。広報なすしおばら毎月20日号の文化・教養ページを参照してください。



### オリジナル乳製品で地域の活性化を ～拓陽高生・乳製品完成試食会～

生乳生産量本州一のまちの強みをもっと活かさないか。市と那須拓陽高等学校の共同研究により開発されたヨーグルト・発酵バター・乳酸菌飲料の3種類が、12月21日に披露されました。乳酸菌の発酵度合いを調整するのはとても難しく、この日までの2年間には多くの挫折があったそう。「それでも最後まで諦めなかった。美味しいと言っただけで、本当にうれしいです」。3年生の村上征希さんはそう喜びを噛みしめていました。



### 匠の声量 世界的な名作を楽しむ ～オペラ公演・「魔笛」～

今年で16回を数える「くろいそオペラをつくる会」の公演が12月11日、黒磯文化会館で行われ、約600人が鑑賞しました。今回上演された「魔笛」は、作曲家・モーツァルトが創った三大オペラの1つで、世界的に広く上演されている演目です。エジプトを舞台に旅の王子タミーノが、捕らえられた夜の女王の娘パミーナを救出すため、試練を乗り越える物語。演者の声量やひょうきんな演技に、会場からは拍手と笑い声があがっていました。



### 現代の湯治場を目指して ～板室温泉まちづくり講演会～

「古の湯治場 板室温泉」というイメージから生まれ変わり、現代湯治に相応しい温泉地にするには何が必要なのか。11月28日、板室健康のゆグリーンで、温泉ビューティ研究者・石井宏子氏を迎え、勉強会が開かれました。「生活水準が向上した現代、お客様はサービスに対する期待を高めている。板室の温泉文化に磨きをかけ板室らしいおもてなしを」。そう語る石井氏の話に、旅館関係者は熱心に耳を傾けていました。



### 自然の素材でアニマルづくり ～親子体験チャレンジ～

那須野が原博物館で行われている人気の工作体験。11月20日の「ワタと木の実でアニマルづくり」では、20家族39人がチャレンジしました。

ヤギやアルパカの骨格を小枝で組み立て、松ぼっくりの顔をボンドで接着。綿で毛をふわふわに飾り付け、最後に耳になる種をくっつけたら完成です。参加した年長の遠藤一花ちゃんは「お母さんと一緒に作りました。もこもこしてるところがお気に入りに入り」と、完成品を見ながらはにかんでいました。